



坂井 康浩



田村 友里



水江 よし子



吉田 羊右子



阿部 由輝子



小林 達雄



高田 恵篤



佐藤 伸之



小池 雄介



村上 哲也



山本真一郎



水上 武



藤原進一朗



船宝 利一



小澤 俊明



いくち 武志



佐伯 和来



増山 浩一



山上 優

## 【キャスト】

大徳寺賀正・醍醐祝賀・怪盗バロン  
 掏摸のお銀  
 飯干貴美子  
 津山リツ  
 芦沢サキ  
 大徳寺寛山  
 永倉新八  
 工藤大介(太陽山)  
 飯千享

坂井 康浩  
 田村 友里  
 水江よし子  
 吉田羊右子  
 阿部由輝子  
 小林 達雄  
 高田 恵篤  
 佐藤 伸之  
 小池 雄介

黒柳鉄兵  
 深編笠の男・新宿の謀二  
 黒柳鉄太郎  
 潮萬次  
 潮干次  
 桜井敬三  
 娘の源吉  
 山田保造巡査  
 成金の男・賭博の勘介  
 小杉ユミ

村上 哲也  
 山本真一郎  
 水上 武  
 藤原進一朗  
 船宝 利一  
 小澤 俊明  
 いくち武志  
 佐伯 和来  
 増山 浩一  
 山上 優

## 【スタッフ】

美術 中嶋 正留  
 作曲 三塚 幸彦  
 照明 西尾 憲一  
 音響 タチバナ音響  
 振付 古賀 豊  
 殺陣 佐藤 伸之  
 舞台監督 山田 和彦  
 企画・制作 岡部 企画

## 【ものがたり】

明治37年2月、日本は自国と比較にならない大国ロシアに宣戦布告した。緒戦の日本軍の勝利に続き、12月には旅順のロシア要塞を苦心のすえ攻め落とし、翌38年5月にはバルチック艦隊を日本海に破った。日本中が提灯行列で沸き立ったのである。号砲が轟き、爆竹と人並みが祝勝気分を煽る。賀正が大徳寺の境内に捨てられていたのは、そんな夜だった。

箱根連山の迫る湯河原の外れに建つ大徳寺は、任職寛山のもと多くの自由民権運動家たちが集まっており、土地開発でひと儲けを企む飯干大臣や、自由民権運動を弾圧する黒柳警視正たちの格好の的となっていた。寛山に拾われた賀正は、修羅場の最中にもここにこと微笑んでおり、生まれたばかりですでに「肝の座った男よ」と寛山をあきれさせる程の人物であった。懐の手紙には『不憫なこの子の父は、高知県幡多郡中村の人、家は菓種商と酒屋を営み、奥書院や回廊、式台つきの富裕な商家にて、この子の父は幕末勤王志士の流れをくむ漢詩人にて候。この子の父は、希代の放蕩児なり遊蕩児なり。満朝報記者時代より、懐中は乏しくとも自墮落に酒と女に羽目を外し、社会主義を唱えて身を持ち崩した。不逞の輩……』、明治37年1月元旦に生まれたとある。

「これは幸徳秋水がことか！。どれどれ、1月元旦の生まれとな。不憫ではあるが、まずはめでたい。よし、この子の名前は今日から大徳寺賀正だ。」のちの冒険王の誕生であった。

瞬く間に5年が過ぎ、賀正は寛山の庇護のもと、酌婦サキの手によってすくすくと育っていた。明治43年、天皇爆殺を企てたとして、幸徳秋水ほか26名の社会主義者が逮捕されるという大逆事件の夜。飯干、黒柳らの陰謀により大徳寺は炎上し、寛山は獄に繋がる。

そして、世は大正に改まる。

悪人たちを成敗する仮面の怪盗バロンが帝都の流行児となっている12年の夏。浅草の路地裏のカフェ「復活」では、巾着切りのお銀、女給のリツたちが世間話の真っ最中である。男爵となった飯干家の令嬢貴美子がオペラ見物の帰りに通りかかる。その時、繁華街の方からバイオリンを弾き、軽やかに「ヨーソロ節」を歌いながら一人の男がやってきた。どんな女も一目で恋に落ちてしまう人なつつこいその微笑み。彼こそが怪盗バロン、そしてあの大徳寺賀正であった！

# 11月30日(土)▶12月4日(水) 新宿 紀伊國屋サザンシアター

●料金(全席指定)	
一般	4,500円
ペアチケット (要予約・岡部企画扱いのみ)	8,000円
高校生以下 (岡部企画扱いのみ)	2,500円

●問い合わせ・前売り	前売開始/10月28日(月)
岡部企画	044-933-9754
チケットぴあ	03-5237-9988
キノチケットカウンター	新宿東口紀伊國屋書店5F
	(店頭販売のみ10:00~18:30)

	11/30(土)	12/1(日)	12/2(月)	12/3(火)	12/4(水)
14:00	🎫	🎫			
18:30			🎫	🎫	🎫